



安全データシート

1. 化学品 及び 会社情報

製品名 カートリッジ059H（ブラック） トナーカートリッジ再生品
会社名 株式会社グラフィック
住 所 群馬県太田市新田市野倉町489-1
担当部門 品質保証部
電 話 (0276) 57 - 8794(代)
F A X (0276) 57 - 8785
整理番号 No. 22-044 発行日：2022年4月13日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類できない。
健康有害性 : 分類できない。
環境有害性 : 分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : 該当しない。
注意喚起語 : 該当しない。
危険有害性情報 : 該当しない。

注意書き

GHS分類に該当しない他の危険有害性 : 粉じん爆発の可能性がある。
過剰量の粉じんを吸入すると呼吸器に刺激を起こす可能性がある。眼を刺激する可能性がある。

国/地域情報 : 15項参照

3. 組成 及び 成分情報 : 単一製品・混合物の区別 : 混合物 外観：黒色粉体

	【含有量(重量%)】	【官報公示整理番号】	【CAS Registry No.】
トナーの構成：			
スチレンアクリル樹脂	70～80%	非開示	非開示
ワックス(固形パラフィン) (*)	1～10%	非開示	非開示
CB(カーボンブラック) (*)	1～10%	対象外	1333-86-4
アモルファスシリカ	1～10%	1-548	67762-90-7
添加物	<0.5%	非開示	非開示

(*) 印は、労働安全衛生法通知対象物質に該当する。

4. 応急措置

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間以上洗眼する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。そして、眼科医の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着した部位を水で洗った後、石鹸でよく洗う。
衣服類が汚染されている場合、直ちに脱がせ、洗濯する。
付着した部位に異常が認められる場合、すぐに医師の手当てを受ける。

吸入した場合 : 速やかに新鮮な空気のある場所に移し、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 速やかに口をすすぎ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 小火災 散水、粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂等
大火災 散水

特有の消火方法 : 防災活動に無関係な全ての人を風上に遠ざける。
移動可能な容器を速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は類焼や破缶防止のため散水して冷却する。
消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護 : 燃焼により有毒ガスが発生するおそれがあるので、風上から消火するか、保護具(空気呼吸器、防毒マスク)を着用する。

【カートリッジ059H（ブラック）再生品】

6. 漏出時の措置	人体に対する注意事項	：	作業の際には保護具を着用し、ばく露されないようにする。			
	環境に対する注意事項	：	漏出した製品が河川等に排出されたり、環境への影響を起こさないように注意する。			
	封じ込め及び浄化の方法・機材	：	回収した製品、汚染された道具等は廃棄上の注意に従って処置する。			
		：	床面などにこぼれた場合は直ちに掃き取り容器に回収する。 掃除機を使用する場合は必ず粉じん爆発安全性対策仕様の掃除機を使用すること。 運搬時等、大量に漏出した場合は風向きを考慮しつつ周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止して容器に回収する。			
7. 取扱い 及び 保管上の注意	取扱い					
	技術的対策	：	別に定める保護具を着用して出来るだけ風上から作業し吸い込んだり眼や皮膚に触れないようにする。 取扱い後は手洗いを励行する。			
	局所排気・全体換気	：	8項に記載の局所排気・全体換気を行う。			
	安全取扱い注意事項	：	細かい粒子は空気と爆発性混合物を形成することがある。 火気、高温体の接近を避ける。 静電気帯電防止対策を行う。 容器を転倒、落下させたり引きずるなどの乱暴な取り扱いをしてはならない。 使用済容器、用具等は一定の場所を定め集積し廃棄上の注意に従って処置する。			
	保管					
	適切な保管条件	：	直射日光を避け、室内の冷暗所に密封して保管する。 熱・火花・裸火のような着火源から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。			
	安全な容器包装材料	：	包装・容器の規制は不明であるが、密閉できる容器を使用する。			
8. 暴露防止 及び 保護措置	設備対策	：	作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。			
	保護具					
	呼吸器の保護具	：	防塵マスク			
	手の保護具	：	ゴム手袋			
	目の保護具	：	側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型の保護眼鏡、保護面帯等			
	皮膚及び身体の保護具	：	安全靴、ゴム長靴、長袖作業服、使い捨て防塵服等			
	適切な衛生対策	：	保護具は使用前に点検し、異常の無いことを確認する。 防じんマスクのろ過剤の交換は定期的、又は使用の都度行う。			
9. 物理的 及び 化学的性質	外観等	：	黒色粉体、殆ど無臭	pH	：	該当しない
	融点/凝固点	：	80～140℃（軟化点）	分解温度	：	データなし
	（嵩）密度	：	1.0～1.2 g/cm ³			
	溶解性	：	水に不溶、アセトン・テトラヒドロフランに一部溶解する			
	その他データ					
	爆発下限濃度	：	85～90 g/m ³			
	最小着火エネルギー	：	1 mJ<MTE≤3 mJ			
	最大爆発指数(Kmax)	：	237×10 ² kPa・m/s			
	粉じん爆発クラス	：	St2（爆発の激しい粉じん）			
	最大爆発圧力(Pmax)	：	8.3×10 ² kPa			
10. 安定性 及び 反応性	安定性	：	通常の状態(冷暗所)では安定である。 空気中に粒子が細かく拡散した場合、爆発性混合物を形成することがある。			
	危険有害反応可能性	：	特記すべき反応性なし。			
	避けるべき条件	：	火気、高温体、直射日光			
	混触危険物質	：	強酸化剤			
	危険有害な分解生成物	：	火災時の燃焼により一酸化炭素などの有毒ガスが発生する可能性がある。			

【カートリッジ059H（ブラック）再生品】

11. 有害性情報

急性毒性	：	報告されていない
皮膚腐食性・刺激性	：	報告されていない
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	：	眼を刺激する可能性がある
生殖細胞変異原性	：	陰性（Ames試験）
発がん性	：	CBはIARCにおいてグループ2B（がん原生の疑いがある）に分類されているが、CBを含有するトナーに対するラットの長期吸入暴露試験では、「発がんの根拠なし」の結論を得ている。 なお、CB以外の構成成分は発がん性は報告されていない。
特定標的臓器・全身毒性	：	
反復ばく露	：	ラットを用いた2年間にわたるトナー吸入暴露試験において、毎日、中用量（4 mg/m ³ ）もしくは高用量（16 mg/m ³ ）の暴露環境にさらされていた群で、肺に軽度の線維症が観察されたが、低用量（1 mg/m ³ ）の群については、肺に特別な変化は認められなかった。

（固形パラフィン）

急性毒性	：	ラット経口 LD ₅₀ >3,750 mg/kg ウサギ経皮 LD ₅₀ >3,600 mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	：	ウサギ 刺激性なしとわずかな刺激性ありの双方の報告がある。
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	：	ウサギ 軽度の刺激性あり。
生殖細胞変異原性	：	陰性（Ames試験）
特定標的臓器・全身毒性	：	
単回ばく露	：	ワックスヒュームは眼・鼻・のどに軽度の刺激性がある。

（CB）

急性毒性	：	ラット経口 LD ₅₀ 15,400 mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	：	ウサギ 刺激性なしと軽度の刺激性ありの双方の報告がある。
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	：	ウサギ 刺激性なし。
皮膚感受性	：	長時間ばく露されると軽いかぶれを起こす場合がまれにある。
生殖細胞変異原性	：	エームス試験； 陰性
発がん性	：	IARC； 「2B」（ヒトに対して発がん性がある可能性がある物質。）
特定標的臓器・全身毒性	：	
反復ばく露	：	吸入経路において、ヒトではわずかな呼吸機能低下が示されているに過ぎないが、実験動物では区分1の用量範囲内で、肺に顕著な組織変化が示された。

（アモルファスシリカ）

急性毒性	：	ラット経口 LD ₅₀ >1,000 mg/kg ウサギ経皮 LD ₅₀ >2,000 mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	：	ウサギ 刺激性なし。
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	：	ウサギ 刺激性なし。
生殖細胞変異原性	：	陰性（Ames試験）
発がん性	：	IARC； 「3」（ヒトに対する発がん性について分類できない。） ＊発がん性データは、非晶質シリカとしてIARCが公表している情報として掲載した。

12. 環境影響情報

報告されていない。

（CB）

分解性	：	自然環境中では分解しないのでそのまま残留する。
生態毒性	：	生体に摂取された場合、自然排泄され、蓄積性は殆どない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	：	6.7項の記載による他、廃棄物処理関係法令に基づく焼却処理を行う。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性・有害性を充分告知の後に処理を委託する。
汚染容器・包装	：	使用済空容器・包装はそのまま再利用してはならない。 廃棄物処理関係法令に基づく焼却処理を行う。

【カートリッジ059H（ブラック）再生品】

- 14. 輸送上の注意** 国連分類、国連番号：該当せず
特別の安全対策： 容器の破損なきことを確かめ、転倒、落下、衝突等の乱暴な取り扱いは厳禁とする。
高温多湿の場所及び直射日光に曝される場所に長時間放置しない。
-

- 15. 適用法令**
- | | |
|-----------|---|
| 労働安全衛生法 | ： 第57条・名称等の表示物質； 固形パラフィン、カーボンブラック
第57条の2・名称等を通知すべき有害物質； 固形パラフィン、カーボンブラック |
| 消防法 | ： 指定可燃物 合成樹脂類 その他のもの（3,000 kg以上の場合） |
| 船舶安全法 | ： 危規則第2，3条危険物告示別表第1； 該当しない。 |
| 航空法 | ： 施行規則第194条危険物告示別表第1； 該当しない。 |
| 港則法 | ： 施行規則第12条危険物告示； 該当しない。 |
| 化学物質管理促進法 | ： 該当しない。 |
| 毒物及び劇物取締法 | ： 該当しない。 |
-

16. その他の情報

- 備考** 記載内容は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改定されることがあります。又、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、用途・用法に適した安全対策を実施のうえご利用ください。
記載内容は、情報提供であって、品質等を保証するものではありません。
-



安全データシート

1. 化学品 及び 会社情報

製品名 カートリッジ059H (シアン) トナーカートリッジ再生品
会社名 株式会社グラフィック
住 所 群馬県太田市新田市新倉町489-1
担当部門 品質保証部
電 話 (0276) 57 - 8794(代)
FAX (0276) 57 - 8785
整理番号 No. 22-044 発行日：2022年4月13日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類できない。
健康有害性 : 分類できない。
環境有害性 : 分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : 該当しない。
注意喚起語 : 該当しない。
危険有害性情報 : 該当しない。

注意書き

GHS分類に該当しない他の危険有害性 : 粉じん爆発の可能性がある。
過剰量の粉じんを吸入すると呼吸器に刺激を起こす可能性がある。眼を刺激する可能性がある

国/地域情報 : 15項参照

3. 組成 及び 成分情報 : 単一製品・混合物の区別 : 混合物 外観：青色粉体

		【含有量(重量%)】	【官報公示整理番号】	【CAS Registry No.】
トナーの構成：	スチレンアクリル樹脂	80～90%	非開示	非開示
	ワックス(固形パラフィン)(*)	1～10%	非開示	非開示
	顔料(銅化合物) (*)	1～10%	非開示	非開示
	アモルファスシリカ	1～10%	1-548	67762-90-7
	添加物	<0.5%	非開示	非開示

(*) 印は、労働安全衛生法通知対象物質に該当する。

4. 応急措置

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間以上洗眼する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。そして、眼科医の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着した部位を水で洗った後、石鹸でよく洗う。
衣服類が汚染されている場合、直ちに脱がせ、洗濯する。
付着した部位に異常が認められる場合、すぐに医師の手当てを受ける。

吸入した場合 : 速やかに新鮮な空気のある場所に移し、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 速やかに口をすすぎ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 小火災 散水、粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂等
大火災 散水

特有の消火方法 : 防災活動に無関係な全ての人を風上に遠ざける。
移動可能な容器を速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は類焼や破缶防止のため散水して冷却する。
消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護 : 燃焼により有毒ガスが発生するおそれがあるので、風上から消火するか、保護具(空気呼吸器、防毒マスク)を着用する。

【カートリッジ059H（シアン）再生品】

6. 漏出時の措置	人体に対する注意事項	：	作業の際には保護具を着用し、ばく露されないようにする。			
	環境に対する注意事項	：	漏出した製品が河川等に排出されたり、環境への影響を起こさないように注意する。			
	封じ込め及び浄化の方法・機材	：	回収した製品、汚染された道具等は廃棄上の注意に従って処置する。			
		：	床面などにこぼれた場合は直ちに掃き取り容器に回収する。			
7. 取扱い 及び 保管上の注意	取扱い	技術的対策	：	別に定める保護具を着用して出来るだけ風上から作業し吸い込んだり眼や皮膚に触れないようにする。		
			：	取扱い後は手洗いを励行する。		
	局所排気・全体換気	：	8項に記載の局所排気・全体換気を行う。			
	安全取扱い注意事項	：	細かい粒子は空気と爆発性混合物を形成することがある。			
	保管	適切な保管条件	：	火気、高温体の接近を避ける。		
			：	静電気帯電防止対策を行う。		
			：	容器を転倒、落下させたり引きずるなどの乱暴な取り扱いをしてはならない。		
			：	使用済容器、用具等は一定の場所を定め集積し廃棄上の注意に従って処置する。		
	安全な容器包装材料	：	包装・容器の規制は不明であるが、密閉できる容器を使用する。			
	8. 暴露防止 及び 保護措置	設備対策	：	作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。		
保護具		呼吸器の保護具	：	粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。		
		手の保護具	：	防塵マスク		
		目の保護具	：	ゴム手袋		
		皮膚及び身体の保護具	：	側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型の保護眼鏡、保護面帯等		
		適切な衛生対策	：	安全靴、ゴム長靴、長袖作業服、使い捨て防塵服等		
		：	保護具は使用前に点検し、異常の無いことを確認する。			
		：	防じんマスクのろ過剤の交換は定期的、又は使用の都度行う。			
9. 物理的 及び 化学的性質	外観等	：	青色粉体、殆ど無臭	p H	：	該当しない
	融点/凝固点	：	80～140℃（軟化点）	分解温度	：	データなし
	（嵩）密度	：	1.0～1.2 g/cm ³			
	溶解性	：	水に不溶、アセトン・テトラヒドロフランに一部溶解する			
	その他データ					
	爆発下限濃度	：	85～90 g/m ³			
	最小着火エネルギー	：	1 mJ<MTE≤3 mJ			
	最大爆発指数(Kmax)	：	237×10 ² kPa・m/s			
	粉じん爆発クラス	：	St2（爆発の激しい粉じん）			
	最大爆発圧力(Pmax)	：	8.3×10 ² kPa			
						*その他のデータは、同等品の試験結果を引用。
10. 安定性 及び 反応性	安定性	：	通常の状態(冷暗所)では安定である。			
	危険有害反応可能性	：	空気中に粒子が細かく拡散した場合、爆発性混合物を形成することがある。			
	避けるべき条件	：	特記すべき反応性なし。			
	混触危険物質	：	火気、高温体、直射日光			
	危険有害な分解生成物	：	強酸化剤			
	：	火災時の燃焼により一酸化炭素などの有毒ガスが発生する可能性がある。				

【カートリッジ059H（シアン）再生品】

11. 有害性情報	急性毒性	：	報告されていない
	皮膚腐食性・刺激性	：	報告されていない
	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	：	眼を刺激する可能性がある
	生殖細胞変異原性	：	陰性（Ames試験）
（固形パラフィン）			
急性毒性	：	ラット経口 LD ₅₀ >3,750 mg/kg ウサギ経皮 LD ₅₀ >3,600 mg/kg	
皮膚腐食性・刺激性	：	ウサギ	刺激性なしとわずかな刺激性ありの双方の報告がある。
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	：	ウサギ	軽度の刺激性あり。
生殖細胞変異原性	：	陰性（Ames試験）	
特定標的臓器・全身毒性	：		
単回ばく露			ワックスヒュームは眼・鼻・のどに軽度の刺激性がある。
（顔料（銅化合物））			
急性毒性	：	ラット経口 LD ₅₀ >15 mg/kg	
（アモルファスシリカ）			
急性毒性	：	ラット経口 LD ₅₀ >1,000 mg/kg ウサギ経皮 LD ₅₀ >2,000 mg/kg	
皮膚腐食性・刺激性	：	ウサギ	刺激性なし。
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	：	ウサギ	刺激性なし。
生殖細胞変異原性	：	陰性（Ames試験）	
発がん性	：	IARC；「3」	（ヒトに対する発がん性について分類できない。） ＊発がん性データは、非晶質シリカとしてIARCが公表している情報として掲載した。
12. 環境影響情報	報告されていない。		
13. 廃棄上の注意	残余廃棄物	：	6.7項の記載による他、廃棄物処理関係法令に基づく焼却処理を行う。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性・有害性を充分告知の後に処理を委託する。
	汚染容器・包装	：	使用済空容器・包装はそのまま再利用してはならない。 廃棄物処理関係法令に基づく焼却処理を行う。
14. 輸送上の注意	国連分類、国連番号	：	該当せず
	特別の安全対策	：	容器の破損なきことを確かめ、転倒、落下、衝突等の乱暴な取り扱いは厳禁とする。 高温多湿の場所及び直射日光に曝される場所に長時間放置しない。
15. 適用法令	労働安全衛生法	：	第57条・名称等の表示物質； 固形パラフィン、銅及びその化合物 第57条の2・名称等を通知すべき有害物質； 固形パラフィン、銅及びその化合物
	消防法	：	指定可燃物 合成樹脂類 その他のもの（3,000 kg以上の場合）
	船舶安全法	：	危規則第2，3条危険物告示別表第1； 該当しない。
	航空法	：	施行規則第194条危険物告示別表第1； 該当しない。
	港則法	：	施行規則第12条危険物告示； 該当しない。
	化学物質管理促進法	：	該当しない。
	毒物及び劇物取締法	：	該当しない。
16. その他の情報			
備考	記載内容は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改定されることがあります。又、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、用途・用法に適した安全対策を実施のうえご利用ください。 記載内容は、情報提供であって、品質等を保証するものではありません。		



安全データシート

1. 化学品 及び 会社情報

製品名 カートリッジ059H (マゼンタ) トナーカートリッジ再生品
会社名 株式会社グラフィック
住 所 群馬県太田市新田市野倉町489-1
担当部門 品質保証部
電 話 (0276) 57 - 8794(代)
F A X (0276) 57 - 8785
整理番号 No. 22-044 発行日：2022年4月13日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類できない。
健康有害性 : 分類できない。
環境有害性 : 分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : 該当しない。
注意喚起語 : 該当しない。
危険有害性情報 : 該当しない。

注意書き

GHS分類に該当しない他の危険有害性 : 粉じん爆発の可能性がある。
過剰量の粉じんを吸入すると呼吸器に刺激を起こす可能性がある。
眼を刺激する可能性がある。

国/地域情報 : 15項参照

3. 組成 及び 成分情報 : 単一製品・混合物の区別 : 混合物 外観：赤色粉体

		【含有量(重量%)】	【官報公示整理番号】	【CAS Registry No.】
トナーの構成：	スチレンアクリル樹脂	80～90%	非開示	非開示
	ワックス(固形パラフィン)(*)	1～10%	非開示	非開示
	顔料	1～10%	非開示	非開示
	アモルファスシリカ	1～10%	1-548	67762-90-7
	添加物	<0.5%	非開示	非開示

(*) 印は、労働安全衛生法通知対象物質に該当する。

4. 応急措置

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間以上洗眼する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。そして、眼科医の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着した部位を水で洗った後、石鹸でよく洗う。
衣服類が汚染されている場合、直ちに脱がせ、洗濯する。
付着した部位に異常が認められる場合、すぐに医師の手当てを受ける。

吸入した場合 : 速やかに新鮮な空気のある場所に移し、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 速やかに口をすすぎ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 小火災 散水、粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂等
大火災 散水

特有の消火方法 : 防災活動に無関係な全ての人を風上に遠ざける。
移動可能な容器を速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は類焼や破缶防止のため散水して冷却する。
消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護 : 燃焼により有毒ガスが発生するおそれがあるので、風上から消火するか、保護具(空気呼吸器、防毒マスク)を着用する。

【カートリッジ059H（マゼンタ）再生品】

6. 漏出時の措置	人体に対する注意事項	：	作業の際には保護具を着用し、ばく露されないようにする。			
	環境に対する注意事項	：	漏出した製品が河川等に排出されたり、環境への影響を起こさないように注意する。			
	封じ込め及び浄化の方法・機材	：	回収した製品、汚染された道具等は廃棄上の注意に従って処置する。			
		：	床面などにこぼれた場合は直ちに掃き取り容器に回収する。 掃除機を使用する場合は必ず粉じん爆発安全性対策仕様の掃除機を使用すること。 運搬時等、大量に漏出した場合は風向きを考慮しつつ周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止して容器に回収する。			
7. 取扱い 及び 保管上の注意	取扱い					
	技術的対策	：	別に定める保護具を着用して出来るだけ風上から作業し吸い込んだり眼や皮膚に触れないようにする。 取扱い後は手洗いを励行する。			
	局所排気・全体換気	：	8項に記載の局所排気・全体換気を行う。			
	安全取扱い注意事項	：	細かい粒子は空気と爆発性混合物を形成することがある。 火気、高温体の接近を避ける。 静電気帯電防止対策を行う。 容器を転倒、落下させたり引きずるなどの乱暴な取り扱いをしてはならない。 使用済容器、用具等は一定の場所を定め集積し廃棄上の注意に従って処置する。			
	保管					
	適切な保管条件	：	直射日光を避け、室内の冷暗所に密封して保管する。 熱・火花・裸火のような着火源から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。			
	安全な容器包装材料	：	包装・容器の規制は不明であるが、密閉できる容器を使用する。			
8. 暴露防止 及び 保護措置	設備対策	：	作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。			
	保護具					
	呼吸器の保護具	：	防塵マスク			
	手の保護具	：	ゴム手袋			
	目の保護具	：	側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型の保護眼鏡、保護面帯等			
	皮膚及び身体の保護具	：	安全靴、ゴム長靴、長袖作業服、使い捨て防塵服等			
	適切な衛生対策	：	保護具は使用前に点検し、異常の無いことを確認する。 防じんマスクのろ過剤の交換は定期的、又は使用の都度行う。			
9. 物理的 及び 化学的性質	外観等	：	赤色粉体、殆ど無臭	pH	：	該当しない
	融点/凝固点	：	80～140℃（軟化点）	分解温度	：	データなし
	（嵩）密度	：	1.0～1.2 g/cm ³			
	溶解性	：	水に不溶、アセトン・テトラヒドロフランに一部溶解する			
	その他データ					
	爆発下限濃度	：	85～90 g/m ³			
	最小着火エネルギー	：	1 mJ<MTE≤3 mJ			
	最大爆発指数(Kmax)	：	237×10 ² kPa・m/s			
	粉じん爆発クラス	：	St2（爆発の激しい粉じん）			
	最大爆発圧力(Pmax)	：	8.3×10 ² kPa			
						*その他のデータは、同等品の試験結果を引用。
10. 安定性 及び 反応性	安定性	：	通常の状態(冷暗所)では安定である。 空気中に粒子が細かく拡散した場合、爆発性混合物を形成することがある。			
	危険有害反応可能性	：	特記すべき反応性なし。			
	避けるべき条件	：	火気、高温体、直射日光			
	混触危険物質	：	強酸化剤			
	危険有害な分解生成物	：	火災時の燃焼により一酸化炭素などの有毒ガスが発生する可能性がある。			

【カートリッジ059H（マゼンタ）再生品】

11. 有害性情報	急性毒性	:	報告されていない	
	皮膚腐食性・刺激性	:	報告されていない	
	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	:	眼を刺激する可能性がある	
	生殖細胞変異原性	:	陰性（Ames試験）	
(固形パラフィン)				
急性毒性	:	ラット経口	LD ₅₀	>3,750 mg/kg
	:	ウサギ経皮	LD ₅₀	>3,600 mg/kg
	皮膚腐食性・刺激性	:	ウサギ	刺激性なしとわずかな刺激性ありの双方の報告がある。
	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	:	ウサギ	軽度の刺激性あり。
	生殖細胞変異原性	:	陰性（Ames試験）	
	特定標的臓器・全身毒性	:		
	単回ばく露	:	ワックスヒュームは眼・鼻・のどに軽度の刺激性がある。	
(アモルファスシリカ)				
急性毒性	:	ラット経口	LD ₅₀	>1,000 mg/kg
	:	ウサギ経皮	LD ₅₀	>2,000 mg/kg
	皮膚腐食性・刺激性	:	ウサギ	刺激性なし。
	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	:	ウサギ	刺激性なし。
	生殖細胞変異原性	:	陰性（Ames試験）	
	発がん性	:	IARC；「3」（ヒトに対する発がん性について分類できない。） *発がん性データは、非晶質シリカとしてIARCが公表している情報として掲載した。	

12. 環境影響情報	報告されていない。			
------------	-----------	--	--	--

13. 廃棄上の注意	残余廃棄物	:	6.7項の記載による他、廃棄物処理関係法令に基づく焼却処理を行う。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性・有害性を充分告知の後に処理を委託する。	
	汚染容器・包装	:	使用済空容器・包装はそのまま再利用してはならない。 廃棄物処理関係法令に基づく焼却処理を行う。	

14. 輸送上の注意	国連分類、国連番号	:	該当せず	
	特別の安全対策	:	容器の破損なきことを確かめ、転倒、落下、衝突等の乱暴な取扱いは厳禁とする。 高温多湿の場所及び直射日光に曝される場所に長時間放置しない。	

15. 適用法令	労働安全衛生法	:	第57条・名称等の表示物質； 固形パラフィン 第57条の2・名称等を通知すべき有害物質； 固形パラフィン	
	消防法	:	指定可燃物 合成樹脂類 その他のもの（3,000 kg以上の場合）	
	船舶安全法	:	危規則第2，3条危険物告示別表第1； 該当しない。	
	航空法	:	施行規則第194条危険物告示別表第1； 該当しない。	
	港則法	:	施行規則第12条危険物告示； 該当しない。	
	化学物質管理促進法	:	該当しない。	
	毒物及び劇物取締法	:	該当しない。	

16. その他の情報				
------------	--	--	--	--

備考	記載内容は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改定されることがあります。又、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、用途・用法に適した安全対策を実施のうえご利用ください。 記載内容は、情報提供であって、品質等を保証するものではありません。			
----	---	--	--	--



安全データシート

1. 化学品 及び 会社情報

製品名 カートリッジ059H（イエロー） トナーカートリッジ再生品
会社名 株式会社グラフィック
住 所 群馬県太田市新田市野倉町489-1
担当部門 品質保証部
電 話 (0276) 57 - 8794(代)
F A X (0276) 57 - 8785
整理番号 No. 22-044 発行日：2022年4月13日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類できない。
健康有害性 : 分類できない。
環境有害性 : 分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : 該当しない。
注意喚起語 : 該当しない。
危険有害性情報 : 該当しない。

注意書き

GHS分類に該当しない他の危険有害性 : 粉じん爆発の可能性がある。
過剰量の粉じんを吸入すると呼吸器に刺激を起こす可能性がある。
眼を刺激する可能性がある。

国/地域情報 : 15項参照

3. 組成 及び 成分情報 : 単一製品・混合物の区別 : 混合物 外観：黄色粉体

		【含有量(重量%)】	【官報公示整理番号】	【CAS Registry No.】
トナーの構成：	スチレンアクリル樹脂	80～90%	非開示	非開示
	ワックス(固形パラフィン)(*)	1～10%	非開示	非開示
	顔料	1～10%	非開示	非開示
	アモルファスシリカ	1～10%	1-548	67762-90-7
	添加物	<0.5%	非開示	非開示

(*) 印は、労働安全衛生法通知対象物質に該当する。

4. 応急措置

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間以上洗眼する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。そして、眼科医の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着した部位を水で洗った後、石鹸でよく洗う。
衣服類が汚染されている場合、直ちに脱がせ、洗濯する。
付着した部位に異常が認められる場合、すぐに医師の手当てを受ける。

吸入した場合 : 速やかに新鮮な空気のある場所に移し、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 速やかに口をすすぎ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 小火災 散水、粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂等
大火災 散水

特有の消火方法 : 防災活動に無関係な全ての人を風上に遠ざける。
移動可能な容器を速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は類焼や破缶防止のため散水して冷却する。
消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護 : 燃焼により有毒ガスが発生するおそれがあるので、風上から消火するか、保護具(空気呼吸器、防毒マスク)を着用する。

【カートリッジ059H（イエロー）再生品】

6. 漏出時の措置	人体に対する注意事項	：	作業の際には保護具を着用し、ばく露されないようにする。			
	環境に対する注意事項	：	漏出した製品が河川等に排出されたり、環境への影響を起こさないように注意する。			
	封じ込め及び浄化の方法・機材	：	回収した製品、汚染された道具等は廃棄上の注意に従って処置する。			
		：	床面などにこぼれた場合は直ちに掃き取り容器に回収する。 掃除機を使用する場合は必ず粉じん爆発安全性対策仕様の掃除機を使用すること。 運搬時等、大量に漏出した場合は風向きを考慮しつつ周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止して容器に回収する。			
7. 取扱い 及び 保管上の注意	取扱い					
	技術的対策	：	別に定める保護具を着用して出来るだけ風上から作業し吸い込んだり眼や皮膚に触れないようにする。 取扱い後は手洗いを励行する。			
	局所排気・全体換気	：	8項に記載の局所排気・全体換気を行う。			
	安全取扱い注意事項	：	細かい粒子は空気と爆発性混合物を形成することがある。 火気、高温体の接近を避ける。 静電気帯電防止対策を行う。 容器を転倒、落下させたり引きずるなどの乱暴な取り扱いをしてはならない。 使用済容器、用具等は一定の場所を定め集積し廃棄上の注意に従って処置する。			
	保管					
	適切な保管条件	：	直射日光を避け、室内の冷暗所に密封して保管する。 熱・火花・裸火のような着火源から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。			
	安全な容器包装材料	：	包装・容器の規制は不明であるが、密閉できる容器を使用する。			
8. 暴露防止 及び 保護措置	設備対策	：	作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。			
	保護具					
	呼吸器の保護具	：	防塵マスク			
	手の保護具	：	ゴム手袋			
	目の保護具	：	側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型の保護眼鏡、保護面帯等			
	皮膚及び身体の保護具	：	安全靴、ゴム長靴、長袖作業服、使い捨て防塵服等			
	適切な衛生対策	：	保護具は使用前に点検し、異常の無いことを確認する。 防じんマスクのろ過剤の交換は定期的、又は使用の都度行う。			
9. 物理的 及び 化学的性質	外観等	：	黄色粉体、殆ど無臭	pH	：	該当しない
	融点/凝固点	：	80～140℃（軟化点）	分解温度	：	データなし
	(嵩)密度	：	1.0～1.2 g/cm ³			
	溶解性	：	水に不溶、アセトン・テトラヒドロフランに一部溶解する			
	その他データ					
	爆発下限濃度	：	85～90 g/m ³			
	最小着火エネルギー	：	1 mJ<MTE≤3 mJ			
	最大爆発指数(K _{max})	：	237×10 ² kPa・m/s			
	粉じん爆発クラス	：	St2（爆発の激しい粉じん）			
	最大爆発圧力(P _{max})	：	8.3×10 ² kPa			
						*その他のデータは、同等品の試験結果を引用し
10. 安定性 及び 反応性	安定性	：	通常の状態(冷暗所)では安定である。 空気中に粒子が細かく拡散した場合、爆発性混合物を形成することがある。			
	危険有害反応可能性	：	特記すべき反応性なし。			
	避けるべき条件	：	火気、高温体、直射日光			
	混触危険物質	：	強酸化剤			
	危険有害な分解生成物	：	火災時の燃焼により一酸化炭素などの有毒ガスが発生する可能性がある。			

【カートリッジ059H（イエロー）再生品】

11. 有害性情報	急性毒性	:		:	報告されていない	
	皮膚腐食性・刺激性	:		:	報告されていない	
	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	:		:	眼を刺激する可能性がある	
	生殖細胞変異原性	:		:	陰性（Ames試験）	
(固形パラフィン)						
急性毒性	:	ラット経口	LD ₅₀	>3,750	mg/kg	
	:	ウサギ経皮	LD ₅₀	>3,600	mg/kg	
	皮膚腐食性・刺激性	:	ウサギ	刺激性なしとわずかな刺激性ありの双方の報告がある。		
	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	:	ウサギ	軽度の刺激性あり。		
	生殖細胞変異原性	:	陰性（Ames試験）			
	特定標的臓器・全身毒性	:				
	単回ばく露	:	ワックスヒュームは眼・鼻・のどに軽度の刺激性がある。			
(アモルファスシリカ)						
急性毒性	:	ラット経口	LD ₅₀	>1,000	mg/kg	
	:	ウサギ経皮	LD ₅₀	>2,000	mg/kg	
	皮膚腐食性・刺激性	:	ウサギ	刺激性なし。		
	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	:	ウサギ	刺激性なし。		
	生殖細胞変異原性	:	陰性（Ames試験）			
	発がん性	:	IARC；「3」（ヒトに対する発がん性について分類できない。） *発がん性データは、非晶質シリカとしてIARCが公表している情報として掲載した。			
12. 環境影響情報	報告されていない。					
13. 廃棄上の注意	残余廃棄物	:	6.7項の記載による他、廃棄物処理関係法令に基づく焼却処理を行う。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性・有害性を充分告知の後に処理を委託する。			
	汚染容器・包装	:	使用済空容器・包装はそのまま再利用してはならない。 廃棄物処理関係法令に基づく焼却処理を行う。			
14. 輸送上の注意	国連分類、国連番号	:	該当せず			
	特別の安全対策	:	容器の破損なきことを確かめ、転倒、落下、衝突等の乱暴な取扱いは厳禁とする。 高温多湿の場所及び直射日光に曝される場所に長時間放置しない。			
15. 適用法令	労働安全衛生法	:	第57条・名称等の表示物質； 固形パラフィン 第57条の2・名称等を通知すべき有害物質； 固形パラフィン			
	消防法	:	指定可燃物 合成樹脂類 その他のもの（3,000 kg以上の場合）			
	船舶安全法	:	危規則第2，3条危険物告示別表第1； 該当しない。			
	航空法	:	施行規則第194条危険物告示別表第1； 該当しない。			
	港則法	:	施行規則第12条危険物告示； 該当しない。			
	化学物質管理促進法	:	該当しない。			
	毒物及び劇物取締法	:	該当しない。			
16. その他の情報						
備考	記載内容は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改定されることがあります。又、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、用途・用法に適した安全対策を実施のうえご利用ください。					
	記載内容は、情報提供であって、品質等を保証するものではありません。					